

平成 1 0 年度試験研究成果

区分	普及	題名	品種 キャベツ「夏さやか」		
[要約] 本県のキャベツ品種の主流である「Y R 青春」及び「Y R 青春 2 号」は、8～9月どり作型では小玉の割合が多くなり、裂球しやすく栽培しにくい品種であった。「夏さやか」は8～9月どり作型で、小玉の発生が少なく裂球もしにくいことから収量が高くなり、品質も良好であった。					
キーワード	キャベツ	品種	夏さやか	県北農業研究所 産地育成研究室	

1. 背景とねらい

本県のキャベツ生産は、いわて純情野菜の振興の牽引役とされ、夏秋どり春系キャベツ栽培で平成12年までに生産面積1000haを目標に推進している（平成9年度作物統計面積733ha）。県産キャベツの出荷時期は6月～10月までの長期安定出荷を目指しているが、現状の出荷のピークは7月であり、8～9月は出荷量が急激に落ち込んでいる。出荷量の落ち込みの原因の一つと考えられるのが、品種の影響である。本県のキャベツ品種の主力である「Y R 青春」及び「Y R 青春 2 号」は、8～9月どり作型では小玉の割合が多く、反収が下がる傾向にあり、この時期の品種の選定が望まれていた。

「夏さやか」は、8～9月どり作型で小玉の発生が少なく裂球もしにくいことから収量が高くなり、品質も良好であったことから、その特性を紹介する。

2. 技術の内容

(1) 来歴

ア 春ひかり1号（春系）×金盃（春系）の選抜後代とウイスコンシンY R群（寒玉系）とのF₁品種。

イ 平成6年より「W-4214」として試作。平成11年より「夏さやか」として市販開始。

(2) 特性概要

ア 球形は、甲高の偏円型である。4月播種作型では、球頂部が尖り形が悪くなった。心径及び心長は、「Y R 青春」及び「Y R 青春 2 号」並に小さかった。（表1、2）

イ 収穫物の揃いは、「Y R 青春」及び「Y R 青春 2 号」に比べ若干良かった。（表1）

ウ 収穫期は、「Y R 青春 2 号」に比べ遅く、「Y R 青春」並からやや遅い程度であった。（表1）

エ 夏期でも小玉やチャボ玉の発生が少なく裂球もしにくい傾向にあり、「Y R 青春」及び「Y R 青春 2 号」に比べ可販収量は高い傾向にあった。（表2、3）

オ すず症は、程度の軽い発症は「Y R 青春」及び「Y R 青春 2 号」以上に発生したが、4回の作付けの中では出荷不能となるような重症なものは見られなかった。（表2）

カ 食味は、ほぼ「Y R 青春 2 号」並であった。（表4）

(3) 品種育成元

渡辺採種場

3. 普及上の留意事項

(1) 4月播種作型では、球頂部が尖り形が悪くなるため、最初の播種は5月以降とする。

(2) 「Y R 青春 2 号」に比べ収穫までの期間が長いため、「Y R 青春」から「夏さやか」へ品種を切り替える際、「Y R 青春 2 号」と同じ間隔で播種すると出荷できない期間があるので可能性がある。播種時期は、収穫時期から逆算して決める必要がある。

(3) 「夏さやか」は「Y R 青春」に比べ結球葉がやや堅いため、「Y R 青春」と同じ触感で収穫すると早取りしてしまう危険性があるので注意する。また、裂球しにくいことから過熟球となる危険性もあるので適期収穫につとめる。

(4) 高温期での栽培となるため、病害虫の防除を徹底する。

4. 技術の適応地帯

(1) 適 応 地 域 県北部及び高冷地

(2) 適 応 作 型 播種期：5月中旬～6月中旬

(3) 普及見込み面積 400ha

5. 当該事項にかかる試験研究課題

野菜2-1-(3)-ア地域適応性に優れた品種の選定 (ア)キャベツ

6. 参考文献・資料

7. 試験成績

表1 収穫時の生育

播種期	品種名	収穫期		全重 (g)	調整重		球重 (g)	球高 (cm)	球径		心径 (mm)	心長 (mm)
		平均 (月.日)	C.V. (%)		平均 (g)	C.V. (%)			平均 (cm)	C.V. (%)		
H10.4.15	Y R 青春	7/22.5	18.5	1925	1248	16.6	1120	12.2	17.1	3.9	27	63
	Y R 青春2号	7/17.1	18.8	2143	1367	19.6	1208	12.7	17.9	6.0	29	63
	W - 4 2 1 4	7/25.7	16.8	2231	1453	19.2	1285	14.3	17.1	5.6	28	60
5.15	Y R 青春	8/14.0	28.6	1627	1129	25.1	989	11.9	16.7	6.1	27	61
	Y R 青春2号	8/10.0	0	2044	1487	20.5	1371	13.8	19.1	9.0	28	69
	W - 4 2 1 4	8/13.0	30.8	1987	1344	14.1	1179	13.7	17.9	4.5	28	63
6.15	Y R 青春	9/20.3	9.8	1884	1320	17.9	1208	11.8	19.0	4.9	29	73
	Y R 青春2号	9/17.0	25.7	1470	1129	17.8	1046	12.0	17.2	8.3	28	69
	W - 4 2 1 4	9/22.1	7.2	1633	1120	16.8	1016	11.4	17.7	6.6	28	58
H 9.6.15	Y R 青春	10/ 6.0	5.1	1435	920	17.9	810	8.3	15.6	12.4	28	47
	Y R 青春2号	9/26.0	1.7	1510	1038	27.2	968	10.3	17.5	7.5	31	58
	W - 4 2 1 4	9/29.0	0.0	1726	1191	13.7	1075	11.3	18.3	5.0	32	55

表2 収穫時の品質および収量

播種期	品種名	球緊度 ¹⁾	球形比 ²⁾	規格別収穫個数割合(%)					すず症 割合 (%)	腐敗球 割合 ³⁾ (%)	収穫可 能株率 (%)	可販 収量 (kg/10a)
				>	2 L	L	M	<				
H10.4.15	Y R 青春	76.4	0.71	11	16	47	21	5	0	0	90	6222
	Y R 青春2号	79.1	0.71	9	41	24	21	6	0	0	80	5807
	W - 4 2 1 4	81.8	0.84	21	36	28	15	0	0	0	95	7107
5.15	Y R 青春	69.2	0.71	14	7	14	57	7	0	0	77	4797
	Y R 青春2号	83.6	0.72	14	50	29	7	0	0	0	82	6392
	W - 4 2 1 4	74.6	0.77	13	50	25	13	0	13	6	88	6301
6.15	Y R 青春	79.3	0.62	15	25	35	10	15	6	0	85	6233
	Y R 青春2号	72.2	0.70	16	5	47	26	5	0	13	85	5720
	W - 4 2 1 4	69.7	0.64	0	10	55	35	5	0	0	95	5911
H 9.6.15	Y R 青春	67.8	0.53	0	0	15	70	15	0	0	85	4350
	Y R 青春2号	69.6	0.59	10	0	5	85	0	11	5	85	5190
	W - 4 2 1 4	54.8	0.62	0	35	45	20	0	22	0	95	6620

¹⁾ 球重 ÷ 球体積 ²⁾ 球高 ÷ 球径 ³⁾ 株ぐされによる腐敗

表3 裂球調査

播種期	品種名	収穫期	裂球株率(%)			
			9/20	9/25	9/30	10/5
H10.6.15	Y R 青春	9/20.3	0	10	50	65
	Y R 青春2号	9/17.0	0	25	65	70
	W - 4 2 1 4	9/22.1	0	0	0	0

表4 官能試験

平成9年10月4日実施

品種名	やわらかさ	甘み	総合評価
Y R 青春2号	3.0	3.0	3.0
W - 4 2 1 4	2.8	2.4	2.7
Y R 秋早生	2.2	1.5	1.8
夏山	2.9	2.6	2.8

テスター12人により各品種の生食による食味試験を行った。
評価は、Y R 青春2号を3としたときの5段階評価。

やわらかさ：1かたい～5やわらかい

甘み：1甘くない～5甘い

総合評価：1おいしくない～5おいしい